

第5回

京都医工連携カンファレンス

- Conference and Workshop -

臨床工学技士が知るべき医療機器のユーザビリティ評価
～ 開発者側の視点と選定者側の視点 ～

TOPICS INCLUDED:

1. 「ユーザビリティ評価における学術的知見」ユーザビリティは非常に重要であるが定義が曖昧。WEBや書籍により主張は様々である。学術的知見として関連の研究や文献、規格、根拠などを知り、医療機器を選定する立場としてもユーザビリティ評価についての見識を深める。
2. 「産業界におけるユーザビリティ評価の実際」製品仕様やデザイン・安全性を決める際には臨床で実際に使用する医療従事者、治療や検査を受ける患者の意見・要望を把握する必要がある。これらはまさしく医工連携の仕組みによって得られる。
3. 「実践！ユーザビリティテスト」臨床現場の医療機器ユーザーに、どのようなユーザー評価・ユーザビリティテストを行なうべきか？輸液ポンプを題材に、ワークショップ形式で紐解いていく。



2024年3月23日（土曜日）

参加申し込みはこちら



第1部 講演 1:00 PM - 2:45 PM ※zoom配信あり

第2部 ワークショップ 3:00 PM - 4:00 PM 現地のみ

<https://kyoto-ce-mec.peatix.com>



場所：アート&テクノロジービレッジ京都（Art & Technology Village Kyoto）

京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字鏡田30番地1

参加費：京都府臨床工学技士会会員、日本臨床工学技士会会員：無料

その他一般：2,000円

Organized by



Co-hosted by



Sponsored by



PROGRAM

13:00～ Opening Remarks

「京都府臨床工学技士会 医療機器ユーザー評価事業構想」
三菱京都病院 篠原智誉

13:15～ 1st session 「ユーザビリティ評価における学術的知見」
北里大学 医療衛生学部 藤井 清孝 先生

14:15～ 2nd session 「産業界におけるユーザビリティ評価の実際」
マクセル株式会社 新事業統括本部 松沼 悟 先生

15:00～ Workshop 「実践！ユーザビリティテスト」
京都岡本記念病院 臨床工学部 小山 和彦 先生

16:00～ Closing Remarks & Net working



ACCESS

名称 アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都

(ATVK: Art and Technology Village Kyoto)

住所 京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字鏡田30番地1

～お車の場合～

大山崎IC・JCTから約3分 (国道171号線沿い大阪方面)

駐車場60台あり

～公共交通機関の場合～

JR山崎・阪急大山崎駅から徒歩約20分

※正門入口は西側(東側マクセル株式会社正門側から入れません)

※大阪方面からは右折禁止 (京都方面からの左折入場)

※出口は右折禁止